

教育夢発信

地域に発信「しろやまコンサート」

高学年が総合的な学習の時間などで取り組んできた成果を、地域に向けて発表するようになって3年になります。



毎年、4年生は、公民館をお借りし、地域の方を招待して「しろやまコンサート」を行っています。案内状やパンフレットの作成から会場の設営、当日の進行まで、できる限り自分たちの手で行う、手作りのコンサートです。市の小中音楽会を目標に、響く歌声づくりに取り組んできた自慢の合唱、オペレッタ、参観していただく多くの老人の方々と一緒に歌える童謡などを披露します。



このコンサートは、年々地域に定着し、開催を楽しみにしている地域の方も多くなってきています。昨年も、公民館の大ホールが満席になるほどの方々に来ていただけました。

今年の4年生も、3年生の時に一つ上の先輩が行ったコンサートを見た経験から、あこがれのイメージを持っていて、自分たちも「しろやまコンサート」を素晴らしいものにしていきたいという願いをもっています。きっと、先輩たちに負けないものを創り上げて、伝統を引き継ぐとともに、このことを通して高学年になる自信を培っていつてくれるものと思います。



第4回となる「しろやまコンサート」は2月に開催する予定です。ぜひ、ご参観ください。

教科書を使って脳トレ

小・中学校で使用する教科書の見本を市立図書館・教育研究所(市役所2階)に展示しています。誰でもご覧になれます。

短歌や俳句について考えてみましょう!

短歌と俳句は、どちらも五音と七音の組み合わせによってできる短い詩です。遠い昔に生まれて、今もその形が守られ、わたしたちの生活の中に生き続けています。

Q1 短歌や俳句の特長について考えてみましょう。次の(①)~(③)に当てはまる言葉を入れましょう。

短歌は五・七・五・七・七の(①)から成ります。長い間にわたって、たくさんの人がその中に喜びや悲しみを歌い込んできました。

俳句は五・七・五の(②)から成ります。ふつう(③)という、季節を表す言葉を盛り込むことになっています。

俳句は短歌を祖として生まれ、松尾芭蕉によって芸術として高められました。



Q2 現代や近代の短歌や俳句をいくつか挙げました。作った人を下の囲みから選びましょう。また、④~⑦については、俳句の季語も併せて答えましょう。

- ① 石走る垂水の上のさわらびの 萌え出づる春になりけるかも
- ② みちのくの母のいのちを一目見ん 一目みんとぞただにいそげる
- ③ 街をゆき子供供の傍を通る時 蜜柑の香せり冬がまた来る
- ④ 五月雨を集めて早し最上川
- ⑤ 菜の花や月は東に日は西に
- ⑥ 赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり
- ⑦ 流れ行く大根の葉の早さかな

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (ア) 与謝蕪村 | (イ) 志貴皇子 | (ウ) 松尾芭蕉 |
| (エ) 正岡子規 | (オ) 斎藤茂吉 | (カ) 高橋虚子 |
| (キ) 木下利玄 | | |